



## 学部長ごあいさつ

保健医療学部長 片寄 正樹

今年の夏は全国的に記録的な暑さとなり、6～8月の平均気温は平年を2.36度上回り、3年連続で統計史上最高を更新いたしました。特に北海道では7月単月において全22地点で月平均気温が歴代1位となり、札幌では+4.7℃、帯広では+5.3℃という非常に大きな偏差が記録されました。この学部通信が皆様のお手元に届く頃には、例年どおりの初秋の季節となり、北海道の四季を存分にご堪能いただけることを願っております。前置きが長くなりましたが、平素より本学部の教育・研究活動ならびに学生へのご支援に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度は、本学が創基80周年・開学75周年という大きな節目を迎える年となりました。その記念事業の一環として、本学初となる「統合報告書」を刊行いたしました。本報告書には、新たに策定した「札幌医科大学 Vision for the Next Decade」が掲げられ、教育・研究・医療・国際交流・ガバナンスにわたる幅広い展望が示されております。さらに、附属病院を含めた全学的な活動や財務情報を一体的にまとめることで、社会に対する透明性を高め、未来への責任ある姿勢を示す重要な第一歩となりました。本学ホームページ「札幌医科大学創基80周年・開学75周年記念サイト」では、80周年記念ムービーなどと合わせてご覧いただけますので、ぜひご高覧いただければ幸いです。



また、80周年記念事業の一環として開催された記念シンポジウムでは、本学衛生短期大学部看護学科を卒業され、現在フィンランド・タンペレ大学博士課程に在籍する久未智実先生に、「“世界一幸せな国”から考える看護の創造性」と題するご講演をいただきました。福祉国家フィンランドの実践を基盤に、看護の専門性と創造性をいかに社会の幸福へと結びつけるかという視点は、私たちに新たな示唆を与えるものでした。卒業生が国際的に活躍し、その知見を母校に還元してくださることは大きな誇りであり、学生にとっても未来への励みとなることでしょう。

本学部は引き続き、「地域に根差し、世界に羽ばたく」という理念のもと、教育環境の充実を図り、次世代の医療人材育成に力を注いでまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【令和7年度 前期学事 実施報告】 (1～4学年)

(4学年共通)

4月 9日～4月 11日 「保健医療総論1～4」  
4月 7日～ 前期講義開始  
6月25日 大学記念日

(3年生)

8月 4日～8月 29日  
9月 1日～9月 12日  
9月16日～

夏季休業  
前期定期試験  
臨地実習 (看護)

(1・2年生)

8月 4日～8月 29日 夏季休業  
9月 1日～9月 12日 前期定期試験

(4年生)

4月14日～  
5月 5日～  
7月22日～8月 1日  
7月22日～7月25日  
8月 4日～8月 29日  
7月28日～8月 1日  
8月12日～8月15日  
8月 4日～9月19日

臨床実習 (作業)  
臨床実習 (理学)  
夏季休業 (作業)  
前期定期試験 (看護)  
夏季休業 (理学)  
" (看護)  
" (" )  
臨地実習 (看護)



## 2 学年副学生担当教員よりごあいさつ

### 看護学科（丹野教授、木島准教授）



看護学科2年生の副学生担当教員を務めております、丹野と木島です。保護者の皆さまには、日頃より本学の教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

看護学科では、各学年に2名の副学生担当教員を配置しており、学籍番号の前半の学生は丹野、後半の学生は木島が中心となって担当しています。2024年度に入学した2年生は、入学時からコロナ禍前と同じ環境で学ぶことができ、昨年は大学祭も再開されました。部活動も制限なく行えるようになり、学生たちは日々の大学生活を楽しんでおります。

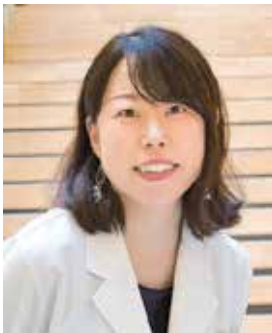
2年生は来年2月頃に、初めて患者様を受け持つ2週間の臨地実習を経験します。臨地実習では、これまでの授業や演習で学んできた看護を実際の患者様に提供する貴重な機会です。学生たちは臨地実習を通して、看護の重要性や難しさを実感するとともに、患者様との関わりの中で看護のやりがいや喜びを感じるなど多様で深い学びを得ます。また臨地実習では、学生であっても医療チームの一員の矜持をもって、患者様に不利益が生じないよう細心の注意を払いながら実習に取り組む必要があります。そのためには、日頃の授業や演習でしっかり学び、準備を整えておくことが欠かせません。

私たち副学生担当教員は、出欠や授業態度の確認だけでなく、その背景にある心身の健康や生活の様子にも目を向け、学生が学業に集中できるようにサポートしてまいります。その際には、2年生の科目担当教員や教務委員会とも連携しながら支援を続けていきます。

保護者の皆さまにも、今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。学生たちはこれからさらに成長していきます。その歩みを私たち教員とともに、ぜひ温かく見守り、ともに喜んでいただければ幸いです。



### 理学療法学科（岩本准教授）



令和6(2024)年4月に本学理学療法学科へ入学された皆さんの副学生担当教員を務めております、岩本えりかと申します。補佐教員の青木信裕とともに、学生の学習と成長を日々サポートさせていただいております。保護者の皆様には、日頃より本学の教育にご理解・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

理学療法学科の2年生では、仲間と切磋琢磨しながら、医療人として必要な知識や技術を身につけ、人間性を高めることを目標としております。大学での学びは、単に知識や技術を習得するだけでなく、将来の医療現場で協働するために欠かせないコミュニケーション力や課題解決能力を育む貴重な機会でもあります。2年生後期は、基礎知識を応用する専門科目が増え、学習内容がさらに高度になる時期です。副学生担当教員として、授業や実習で生じる疑問や不安と一緒に向き合い、学生が自信をもって学習を進められるよう支えてまいります。また、この時期は、理学療法士としての将来像を描き始める大切な時期でもあります。将来の進路やキャリアについて考えるきっかけを提供し、必要に応じて相談に応じながら、学生一人ひとりが自分らしい道を見つけられるよう、全力でサポートいたします。

保護者の皆様には、学生が新たな学びと挑戦を通して成長していく過程を、ぜひ温かく見守っていただければと存じます。私たち教員一同も、学生が充実した学生生活を送り、医療人としての第一歩を踏み出せるよう、引き続き尽力してまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

### 作業療法学科（横山講師）



作業療法学科2年生副学生担当教員の横山和樹と申します。2024年4月の入学以来、補佐教員の早崎涼太先生と学修を支援してまいりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本学教育へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2年生前期は、作業療法士を志すうえで重要な時期です。解剖学実習や生理学実習など専門基礎分野の実習が増え、課題や試験の水準も大きく高まりました。いずれも臨床現場で役立つ力を培うために欠かせない学びであり、真摯に取り組む皆さんの姿が印象的でした。2年生後期には、作業療法評価学や基礎作業学Ⅱに加え、実習施設を5か所経験する臨床実習Ⅱがあり、対象となる方に対する検査や測定を実際に経験することで、臨床の理解をさらに深めていきます。

私が学生さんに日頃より伝えていることは「せっかく札幌医科大学で学ぶのだから、作業療法士としての資格取得にとどまらず、自身の強みを生かした新たな価値を生み出してほしい」ということです。2年生はそのため何ができるかを熟考するステージです。本学の学部教育においては、どの科目でも自ら考えて学ぶ力や、仲間と支え合う力を身につけられるよう工夫されています。また、臨床実習に加えて、地域活動やボランティアを通して実際の現場を体験する機会もあります。さらに、本学には大学院保健医療学研究科や附属病院理学療法士・作業療法士研修センターなど、卒業後も幅広い活躍の場があり、その環境や資源を存分に活用してほしいと考えています。

保護者の皆様には、引き続き学生の挑戦と成長を温かく見守り、学修へのご支援を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

# 行事紹介

## 令和7年度保健医療学部「保護者説明会」

教務委員会 副委員長 太田 久晶

令和7年度保健医療学部保護者説明会を8月9日に開催いたしました。当日は、来学39名、オンライン9名の計48名の保護者の皆様(学科別:看護21名、理学療法12名、作業療法16名)にご参加いただきました。3連休の初日にもかかわらず、多くの方にご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

本年度の説明会は、第1部:学部全体説明会、第2部:学科別説明会、第3部:学内施設見学・個別相談会の三部構成といたしました。昨年度のアンケート結果を踏まえ、第1部と第2部は対面およびZoomによるハイブリッド形式で開催し、第3部は運営上の理由から対面のみといたしました。

第1部の全体説明会では、片寄学部長の挨拶に続き、正岡教務委員長より、本学部の教育目標や4年間のカリキュラム、学びの特徴等について説明がありました。また、学生の健康を支援する保健管理センターの紹介も行いました。第2部の学科別説明会では、各学科長から教育方針やその特徴、国家試験の結果、卒業後の進路などについてご説明いたしました。第3部の学内施設見学では、図書館や講義室、演習室・実習室などを教員がご案内し、個別相談会では、学生生活、成績、就職・進路に関するご質問に各学年の副学生担当教員が対応いたしました。

終了後に実施したアンケートには29名の方からご回答をいただき、いずれの企画に対しても9割を超える皆様から「わかりやすかった」「有意義であった」とのご評価をいただきました。一方で、全体説明会の内容や来場案内に関してご意見も頂戴しております。いただいたご意見は、今後の説明会運営の改善に活かしてまいります。保護者の皆様におかれましては、今後とも本学部の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 作業療法学科OSCEについて

(中村 充雄 准教授)

作業療法学科では、平成26(2014)年から3学年の学生を対象とした作業療法臨床実践法の科目の中で客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination:OSCE)を実施しています。OSCEでは実習の準備状況を確認するため、外部から模擬患者を招き、それまでに学修した知識や技術を用いての医療面接や評価・治療的な介入のみならず、リスク管理や医療的接遇、対象者への対応などを評価する実技試験です。この試験は、3学年に実施される臨床実習3(2週間の評価を中心とした実習)と、4学年に実施される総合臨床実習の前に実施しています。

OSCEに向けて本学科では3学年の前期に作業療法臨床実践法1、後期に作業療法臨床実践法2が組まれております。作業療法臨床実践法1は、医療面接課題と身体障害領域の課題を講義・演習を通して、面接や評価技法と併せ、臨床に望まれる態度やマナーを学びます。作業療法臨床実践法2は、医療面接課題と身体障害領域課題に発達障害領域を含めた3つの課題について、作業療法臨床実践法1で確認した内容に加え模擬患者に必要な治療的提案や介入方法について学びます。

本学科のOSCEの特徴は、本学教員に加え外部評価者として本学科が臨床実習等でお世話になっている臨床で活躍されている作業療法士にも参加いただいております。学生は臨床に則したフィードバックを受けることができ、さらなる学びのモチベーションとすることができることです。また、OSCE試験実施の翌日以降に学生は4~5名のグループで試験の様子をビデオで確認し、課題遂行についての振り返りを行っています。振り返りを通して、学生自身ができていることや実習までに学び直しが必要な内容を言語化しながら確認することができ、その後の臨床実習を有意義な実習をすることができるものと考えています。



## 教員紹介（医療人育成センター 社会学 講師 桜木 真理子）



医療人育成センターの桜木です。赴任2年目の新人教員です。北海道での生活も2年目になりますが、こちらでの生活をとても気に入っています。保健医療学部では、社会学概論、ジェンダー学、文化人類学を担当しています。社会学の先生と思われがちですが、本業は文化人類学で、そのなかの医療人類学という分野の研究をしています。

文化人類学は、綿密なインタビューや長期フィールドワーク(現地調査)といった質的な調査方法を通じて、調査対象の人々が独自に持つものの見方に迫る学問です。医療人類学の場合でいえば、患者さんやその家族が病気についてどのように考えているのか、その背景にある地域性や文化性も含めて考察します。

私の研究者としてのスタートは、ハンセン病元患者のライフヒストリー研究でした。2013年から群馬県の国立ハンセン病療養所に住んでいるハンセン病元患者の方々に、数十年にわたって付き合った病気の経過と療養所での生活、治療や検査の変化が彼らの生に与えた影響などについて聞いてきました。考えてみれば当たり前ですが、同じ病気であってもその経験の仕方は非常にさまざまです。そうした多面的な病気の経験や、当事者ならではの病気に対する解釈を描き出すことが医療人類学の役割です。また文化人類学は長い間じっくりと調査対象の人々に関わるので、生活の色々な場面を共にすることも「調査」の一部です。私の場合は療養所の方々と一緒にごはんを食べたり、買い物に行ったり、ゲートボールをしたりもしました(笑)。高齢化が進んでいるため、お話を聞かせていただいた方の半分近くが既にお亡くなりになってはいますが、今思えばとても貴重な時間だったなと思っています。

患者さん自身やその周りの人々が持つ考え方は、医療者の知識や視点とギャップがあります。こうしたギャップは医療者を当惑させるものですが、そこであえて患者さんの立場に立って、なぜそうしたギャップが生じるのかに思いを馳せてみると、問題解決の糸口が見えてくるかもしれません。医療人類学では、医療者と患者、どちらの知識や実践がより正しいかという価値判断は行わずに、まずは相手と同じ地平で物事を見ようというスタンスを取ります。保健医療学部の学生の皆さんにも、すぐには納得したり解決したりできないような問題に真摯に向き合う医療者になることを期待しています。微力ながらそのお手伝いができれば嬉しいです。



### 【令和7年度 後期学事予定】（1～4学年）

#### （4学年共通）

9月22日～	後期講義開始
10月9日～10月11日	体育祭
12月5日	文化芸術祭
3月19日	卒業式

#### （3年生）

9月16日～	2月27日	臨地実習（看護）
9月29日～	10月10日	臨床実習（作業）
12月22日～	1月4日	冬季休業
1月19日～	1月23日	後期定期試験（理学）
1月26日～	2月20日	臨床実習（理学）
2月18日～	3月5日	後期定期試験（作業）

#### （1・2年生）

12月	～	臨床実習（2年生・理学）
12月22日～	1月4日	冬季休業
1月	～	臨床実習（2年生・作業）
1月26日～	1月30日	臨床実習（1年生）
2月2日～	2月13日	臨地実習（2年生・看護）
2月18日～	3月5日	後期定期試験（1・2年生）

#### （4年生）

9月22日～	10月17日	臨地実習（看護）
12月22日～	1月4日	冬季休業